

## I. 授業の基本情報

人文地理学は自然地理学とともに系統地理学を構成し、地表面における人間の存在や活動のあり方を、集落、産業、交通、人口などの事象別に考察し、その地域的特質や空間的構造を明らかにする学問である。本講義では、人間の諸活動と環境との関係を中心に、事例地域の分析を通じて現代人文地理学における様々な課題にアプローチする。なお、この科目は課程認定科目である。

授業の到達目標は、①人文地理学の基本概念を理解する。②様々な人文事象について主題図を用いて理解したり表現したりすることができる。③人文事象の考察を通じて地域の特質や空間的構造を理解することができる、である。

関連する DP は教育活動に取り組むための十分な技能を身につけている（技能）、教育現場で生じているさまざまな現代的諸課題について、専門的な知見をもとに、その対応策を理論に基づいて総合的に考え、その過程や結果を適切に表現することができる（思考・判断・表現）、である。

## II. 授業評価の実施方法

授本講義の履修者は 39 名であった。2018 年 2 月 13 日の授業で授業評価を実施した。アンケートの内容に応じて、チェックリスト型と自由記述型を採用した。当日の出席者 37 名で、そのうちの 34 名から回答を得た。

## III. 現地調査を取り入れた研究授業

本講義の履修者が 39 名で、大人数のため数班に分けて学生に現地調査を行なった。口頭発表を通じて授業内容への理解を図った。

## IV. 授業評価の結果

授業評価は各質問項目について、それぞれ「①そう思う、②どちらかといえばそう思う、③どちらとも言えない、④あまりそう思わない、⑤そうは思わない」を聞いた。なお、集計結果には選ばれなかった選択肢を省いた。

1. あなたは授業時間外の予習や復習を積極的に行なったか。

- ①そう思う 2 名
- ②どちらかといえばそう思う 11 名
- ③どちらとも言えない 14 名

④あまりそう思わない 5 名

⑤そうは思わない 2 名

2. あなたは授業を意欲的に取り組んだか。

- ①そう思う 11 名
- ②どちらかといえばそう思う 19 名
- ③どちらとも言えない 4 名

3. 教員は、学生が質問や意見を述べられるように配慮したか。

- ①そう思う 21 名
- ②どちらかといえばそう思う 10 名
- ③どちらとも言えない 3 名

4. PPT の提示は適切であったか。

- ①そう思う 18 名
- ②どちらかといえばそう思う 12 名
- ③どちらとも言えない 3 名

④あまりそう思わない 1 名

5. 授業の進め方は適切であったか。

- ①そう思う 15 名
- ②どちらかといえばそう思う 16 名
- ③どちらとも言えない 2 名

④あまりそう思わない 1 名

6. 配布資料地図等は適切であったか。

- ①そう思う 16 名
- ②どちらかといえばそう思う 15 名
- ③どちらとも言えない 3 名

7. Moodle の使用は効果的であったか。

- ①そう思う 17 名
- ②どちらかといえばそう思う 13 名
- ③どちらとも言えない 3 名

④あまりそう思わない 1 名

8. FW は内容の理解に有効であったか。

- ①そう思う 20 名
- ②どちらかといえばそう思う 10 名
- ③どちらとも言えない 3 名

④あまりそう思わない 1 名

9. 授業の内容は興味や関心が持てるものであったか。

- ①そう思う 18 名
- ②どちらかといえばそう思う 14 名
- ③どちらとも言えない 2 名

10. この授業は全体的に満足したものであったか。

- ①そう思う 21 名
- ②どちらかといえばそう思う 13 名